

CITY OF YOKOHAMA

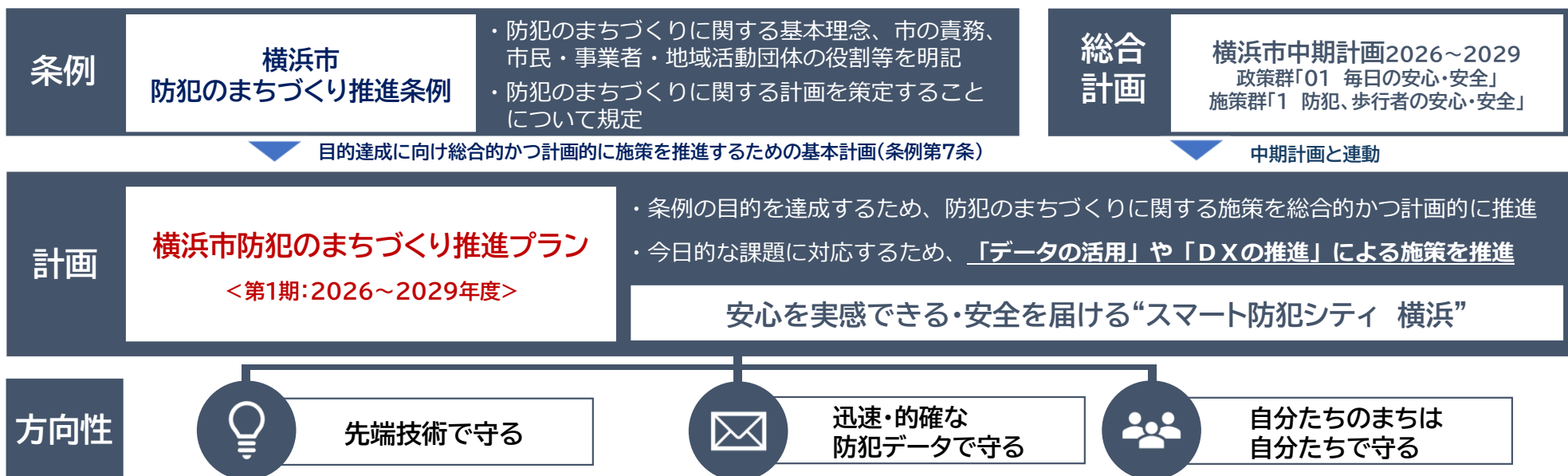
横浜市防犯のまちづくり推進プラン概要



横浜市

プランの位置づけ

体系図

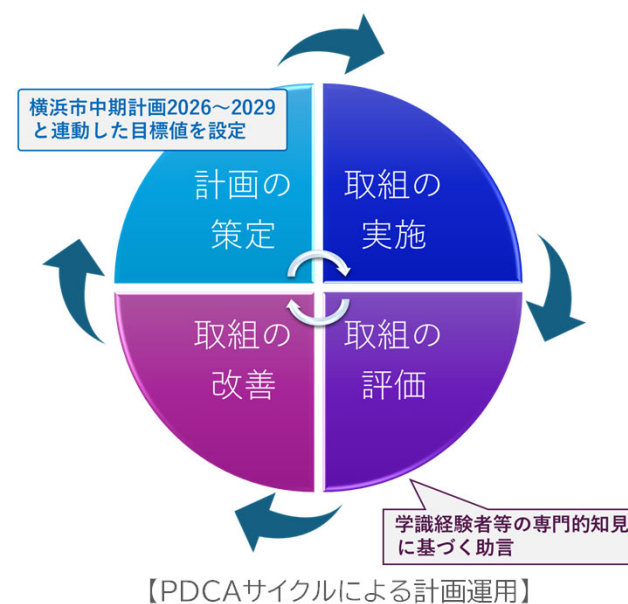


プランの推進にあたって

- 警察等の関係機関と連携し、市民及び事業者の皆様のご協力を得ながら、全庁一丸となってプランを推進します。



- 横浜市中期計画2026～2029と連動した目標値を設定し、学識経験者などの専門的な知見も取り入れながら、PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルによる定期的な評価・検証を行うことで、実効性と持続性を兼ね備えた計画運用を図ります。



プランの全体像



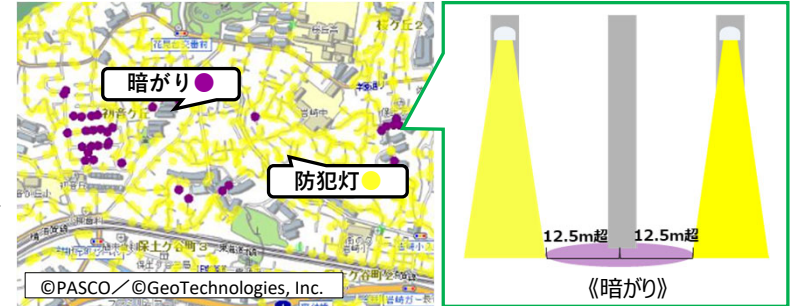
ビジョン1の重点取組

GIS※マップを活用した「暗がりの解消」

これまでの地域からの要望に応えた設置に加え、市が設置している防犯灯の位置情報をもとに、住宅地における、周囲25m以内に灯り（防犯灯）がない場所（電柱）を、「暗がり」の可能性のある場所としてマップに可視化し、防犯灯の設置候補情報として活用することで、効率的かつ計画的に「暗がり」の解消を目指します。

取組指標	夜間照度（灯りの充足率）	
	現状（2025）	目標（2029）
	70%	100%

※「GIS」・・・地図上に位置情報を持つデータを重ね合わせ、コンピュータで管理・分析・可視化する技術



防犯灯の位置情報を記載した地図データ（イメージ）

暗がりのイメージ

防犯灯を活用した地域の見守り強化


小学校周辺に防犯カメラ機能を備えた防犯灯を設置するほか、位置情報が確認できるIoT機能等を追加した「スマート防犯灯」による見守りシステムのモデル事業の効果を検証し、地域の見守りの強化につなげます。

取組指標	小学校周辺の防犯カメラ機能付き防犯灯設置率	
	現状（2025）	目標（2029）
	0%	100%

※「IoT」・・・機器をインターネットにつないで情報を把握する仕組み

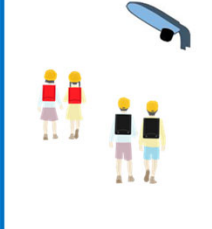
スマート防犯モデル事業（R8）

見守り機能・照度自動調整機能



（引用：Googleマップ）

防犯カメラ機能



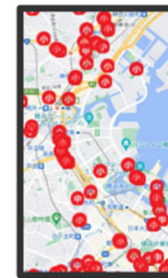
- ▶ **無線通信機能**が付いた**防犯灯**（500灯/地区）と、小学生等が携帯する**見守りタグ**（300個/地区）を連携させ、保護者のスマートフォンで現在位置や移動経路を確認。防犯灯には**照度自動調整機能**も付け、**安全と省エネ**を両立。
- ▶ 小学校周辺の防犯灯には、**防犯カメラ機能**も追加（5台/地区）

ビジョン1の推進取組

○「こども・安全安心マップ」の活用

交通事故情報に加え、声かけ・不審者情報を Googleマップ（マイマップ機能）に重ねて表示し、通学路や生活圏における注意喚起や防犯対策に活用します。

こども・交通事故データマップ



引用:Google マップ

防犯情報

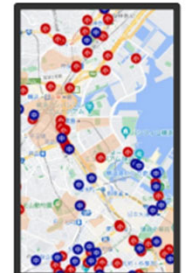


引用:Google マップ

+

=

こども・安全安心マップ



引用:Google マップ

○A I 防犯カメラのモデル導入の検討

映像や画像をA Iが解析し、不自然な動き等を検知するA I防犯カメラについて、防犯対策上の有効性や設置の課題等を整理し、モデル導入の検討を行います。



ビジョン2の重点取組

■ データ活用による特殊詐欺対策の強化

特殊詐欺の発生状況や手口など、警察等から提供されるデータを活用し、市民への効果的な注意喚起を行います。

また、本市の各部署が日常業務で行う通知や周知の機会を活用し、通知等の対象者に応じた防犯情報をあわせて届けるなど、効率的・効果的に被害防止や犯罪の加担防止につなげます。

取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	67.3%	75%

■ 防犯情報の迅速・効果的な発信

多様化する犯罪の発生情報や速やかな注意喚起を要する防犯情報について、LINE等のSNSや防犯Eメールなど、即時性の高い手段を活用して、スピーディーな周知を図ります。

また、様々な広報媒体を通じて、自らを守る防犯の取組等を分かりやすく発信し、一人ひとりの防犯行動につなげます。

取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	67.3%	75%

【参考】詐欺の電話はアプリでブロック!!
警察庁 推奨アプリ (無料で利用できます)

特殊詐欺の犯人から、携帯電話に電話がかかる例が増えています。国際電話番号をアプリで止めることが、被害を防ぐ対策として有効です。

ダウンロードは、
警察庁・SOS47特殊詐欺対策
ページ (外部サイト)



【参考】横浜市LINE公式アカウント

神奈川県警察が配信する「ピーガルクン安全メール」の情報をもとに、犯罪発生情報などを配信しています。区ごとに受信設定が可能です。

< 「ピーガルクン安全メール」でお知らせする情報 >

- 声かけ事案
- 公然わいせつ
- ひったくり
- 凶悪事件の発生
- 警察からのお知らせ
- 不審者情報
- 脅迫・暴行等
- その他の犯罪情報



ビジョン2の推進取組

○対象者に合わせた防犯啓発

▶地域特性に応じた啓発

各区と連携した防犯講座や、地域の状況に即した注意喚起等を行い、地域の子どもから大人まで、それぞれが防犯を身近に捉えられる啓発を行います。

▶教育・福祉と連携した啓発

教育・福祉関係者と連携し、学校・福祉施設等において啓発や注意喚起を行います。

▶横浜市消費生活総合センターにおける相談情報の活用

横浜市消費生活総合センターにおける啓発及び相談を通じて、悪質商法等の被害の未然防止・拡大防止を図るとともに、相談情報を防犯啓発や注意喚起に活用します。



学校での防犯教室
(港南区)

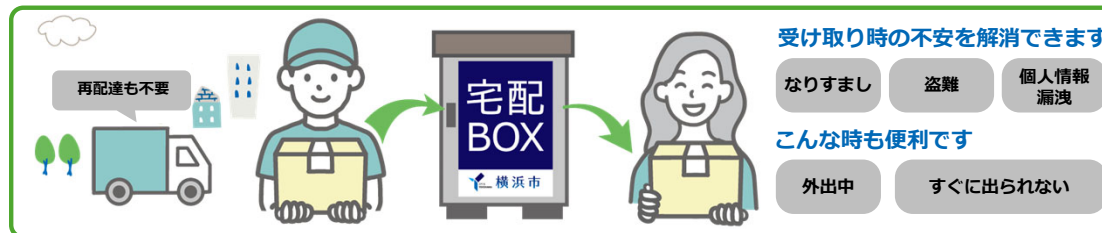
○「子ども・安全安心マップ」の活用（再掲）

ビジョン3の重点取組

「よこはま安心ボックス」の設置支援

ネット通販の普及等に伴い、宅配需要が高まる中で、対面での受け取りへの不安や、盗難、個人情報の流出等のリスクがあることを踏まえ、宅配ボックスの設置費用を補助し、安心して荷物を受け取れる環境づくりを進めます。また、再配達の減少により、環境負荷の低減にもつなげます。

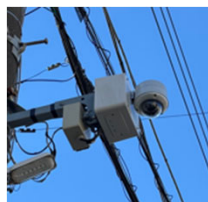
取組指標	防犯対策を実施していると答えた市民の割合	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	67.3%	75%



地域防犯カメラの設置支援

自治会町内会への防犯カメラの設置補助を通じて、地域の防犯活動を支援し、地域主体の防犯力向上を目指します。

取組指標	防犯カメラの設置率 (自治会町内会新規要望充足率)	
	現状 (2025)	目標 (2029)
	60%	100%



ビジョン3の重点取組（続き）

■ 「ながら見守り」の強化

通勤・通学や買い物、散歩など、日常生活の中での行動に防犯の視点を取り入れる「ながら見守り」の取組を推進します。無理のない形で地域の見守りを広げることで、地域の安心感の向上を図ります。

取組指標	自治会町内会の防犯活動実施率	
	現状（2020）	目標（2029）
	65.7%	100%

※「ながら見守り」は、わんわんパトロールやランニングパトロールなどのほか、自治会町内会等で行っている清掃活動など、身近な地域活動の中に防犯の視点を取り入れることで実践できる見守りです。

■ 「ハマパト」のモデル実施

地域の自主パトロールが困難な時間帯に、青色回転灯等を装備した車両による防犯パトロール「ハマパト」をモデル実施し、有効性や運用上の課題を整理します。モデル実施にあたっては、実施結果を地域と共有するなどして、地域防犯対策の強化につなげていきます。

取組指標	自治会町内会の防犯活動実施率	
	現状（2020）	目標（2029）
	65.7%	100%

【参考】郵便局の車両を活用した「こどもの安全見守り活動」（R6～）

横浜市と日本郵便株式会社南関東支社は「地域活性化に関する包括連携協定」を締結しています。この協定に基づき、郵便局の車両を活用した「こどもの安全見守り活動」を市内全域で実施しています。



（車両に貼付しているステッカー）



青色回転灯を装備した車両（イメージ）

ビジョン3の推進取組

○地域防犯活動への支援

地域で行われている防犯パトロール等の活動を支えるため、各区の実情に応じ、自治会町内会などに対し、防犯ベストやのぼり旗、誘導灯等の防犯活動用品を配布します。

あわせて、防犯活動に必要な経費への補助を行い、地域の防犯活動が継続して行われるよう支援します。



通学路での見守り

○環境美化活動を通じた防犯対策

市民の快適な生活環境を維持し、犯罪の起きにくい環境を保つため、駅周辺や歩道、公園等における清掃活動や、不法投棄・放置自動車等の防止に取り組みます。



清掃活動
(西区)

○防犯の視点を取り入れた身近な公共空間づくり

公園や道路、学校、公共施設など、身近な公共空間において、見通しの確保や照明整備など、犯罪の起きにくい環境づくりを進めます。